



発行/NPO法人はらまちクラブ
〒975-0071 南相馬市原町区深野字台畑 15-2
電話番号：090-8258-0840
メール：emoto@npoharamachiclub.jp
emoto8@ezweb.ne.jp
emoto88@ybb.ne.jp

お元気ですか！

NPO法人はらまちクラブ理事長 江本 節子

「めぐりあい」発刊します。

みなさんお元気ですか？

平成23年3月11日午後2時46分、大地震発生から大津波・福島第一原子力発電所の重大事故、加えて風評まで、思いもかけぬめぐり合わせに、夢の中にいるような1ヶ月が経過し、今は夢から覚めつつ、厳しい現実と向き合う時間となっています。「避難指示」「屋内退避」「一時避難」「自主避難」「警戒・・・」「計画的・・・」「準備・・・」「μSv」などに翻弄され続けています。

家族や家をなくされた方、仕事を失った方、廃業・閉店に追い込まれた事業主、家族と分断された生活を強いられた人、私たちの日常は一変しました。

いまだ多くの、お店や事業所・銀行（一部）・郵便局などが閉じられたままの中。小・中・高校の再開は間もなくですが、心配の絶えない毎日です。

それでも、私たちは避難先の援助・協力との暖かい「めぐりあい」、南相馬市民の喜びや悲しみとの「めぐりあい」、数限りない「めぐりあい」をいただきました。いま私たちは南相馬市復興に向けて、新たな「めぐりあい」の輪を大きく広げ、市・県・国を超えた宇宙規模の「めぐりあい」、そして「つなぎあい」がこのまちを元気にすることを信じています。

避難した人、南相馬市に残った人、そのほかの多くの災害支援をしてくださる方々がこの情報誌で繋がることを祈り、**めぐりあい**を発行します。

避難所から その①原町第一小学校



斉藤ツネ子さん



門馬新一・松代さん

お名前・年齢・住所・生活の様子・困っていること

※斉藤ツネ子さん（81歳）小高区南町2丁目

・3月14日からここに避難しています。

・いろいろと良くしていただいているので、今のところ、何とか大丈夫です。靴下と下着が無いので困っています。（後日、靴下や下着を調達し、お届けしました。）

※門馬新一（58歳）・松代さん（51歳）小高区小谷字宮上

・避難所生活の不満は特にありません。

・あらゆる面での補償が、まだ何もはっきりしていないので不安です。

今井正人選手からの
応援メッセージが届きました！



今井正人（いまいまさと）

1984年

南相馬市小高区生れ

原町高校

順天堂大学

現在トヨタ自動車九州

※実家が津波で被災しましたが
家族は全員無事です。



◇こんにちは。私は南相馬市小高区出身で現在トヨタ自動車九州の陸上競技部に所属させていただいている今井正人です。この度の、震災で被災された全ての方々に、心よりお見舞い申し上げます。

◇地震・津波・原発問題、止まぬ余震で皆さんのお身体、心は限界に達しているころだと思います。そんな皆さんに何の力になれない自分自身、大変不甲斐なく思っています。ですが皆さんこんな時だからこそ、皆で輪になり、力を合わせる時だと思います。自分にできること、やるべきことをしっかり考えて、それをためておく時だと思います。だから、今は知恵と、その時に使うためのエネルギーをためておきましょう。そして皆で一気に使いましょう。その時まで、しばし我慢の時間が続きますが、必ず南相馬市はやれます。いや、やります！

◇こんな言葉を聞いたことがあります。『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。』信じてやりましょう。僕が今できることは、やはり走って、皆さんに元気な姿を少しでも多く見ていただくことだと思います。なので、目標に向かい、日々精進していきますので、ご声援のほど、よろしく願いいたします。

◇南相馬市は必ず復活します。絶対に負けません。皆で元の南相馬市以上に元気あふれるまちに、自分たちで作って行きましょう、まだまだ不安定な日が続きますが、お身体には十分気をつけてお過ごしください。



南相馬市原町区高見町 4月3日～4月19日までの積算線量

まいくろシーベルト

210

μSv/h

生活情報

営業しているお店 (食物関係のみ掲載)
平成23年4月20日17時現在
南相馬市ホームページより

食料品関係

まちなかひろば「市民市場」・サイヤ・フレスコキクチ鹿島店・さいとう食品
みよしや・Vチェーン北長野店・パチンコ西部2・服部米穀店・四季彩
原町中央青果市場・かしまスーパー・酒蔵部まつも・たこやき円達鹿島店
南国屋原町店・アニュー原町店・香の蔵・黒潮海苔店・さくらいストアー

ホームセンター

ダイユーエイト鹿島店・ダイユーエイト原町店
コンビニエンスストア
セブンイレブン関係 原ノ町駅前店・北町店・牛来店・原町西町店
原町本陣前店・原町日の出町店・相馬鹿島店・大木戸店・錦町店・大甕店
ヤマザキショップ仲町店・ディリーヤマザキ鹿島小池店
ローソン鹿島町横手店

お菓子

大岩菓子店・宮本菓子店・松屋菓子・栄泉堂・サカエ屋菓子店
(有)菓夢菓夢亭・(資)亀屋菓子店・菓子処しお

パン屋

原町製パン・昇月堂製パン・バルティール

果物

小泉青果店・やまさん

精肉店

浜屋精肉店・栄屋肉店・肉の國分・ニューさいとう

鮮魚店

玉川鮮魚店・柴田鮮魚販売・有田鮮魚店・山田鮮魚店・和田魚屋
てつ魚店

食事

鈴木食堂・らあめん屋すず・居酒屋食堂「まるみや」・駒・正谷・弥助鮎
レストランポプラ・珈琲亭いこい・レストランタイム・四季の味華のれん
食事処いずみ・みなとや食堂・手打ちそば吉藩・そば処木音・サラリ
旬の魚菜旭亭・高見食堂・さっぽろラーメンえぞ龍・ご飯屋まーちゃん
和食彩々五月・オリーブの木・レストランかつら・清寿司・花園ドライブイン
パスタハウスマリオ・お食事処一心亭・珈琲亜土・焼肉もらんぼん
アツミ亭鹿島店・とんかつ大甕・焼肉宝島・寿司処新月・つきや食堂

弁当

松原弁当・ほっともっと南町店・日の丸亭西町店

金融機関(窓口業務)

東邦銀行原町支店・常陽銀行原町支店

4月15日サンライフ物資配給所で聞きました。

今、不安に思うこと。

テーマ「今、不安に思うことはどんなことですか？」
物資の配給を受けるために来場した市民の皆さんの声をサンライフ南相馬で聞いてみました。

(総来場者数 925 名、複数回答)

	女性	男性	高齢者	計
子どもの健康や学校のこと	50	10	22	82
生活のこと	68	10	38	116
仕事や収入のこと	90	20	48	158
その他	42	28	72	142
合計	250	68	180	498

ほとんどの人が原発事故への不安を訴えていました。
そして、多かったのが

- ①市役所への電話が繋がらない。
- ②防災無線の広報が聞こえない。
- ③どこになにを相談したらいいのかわからない。

その他に、食料品の配布が無い。仕事が無くなり多くのローンが残った。高校に通学するのに1日1,000円のバス代がかかり困るなどなど。不安や不満・我慢の多さを改めて実感でき、すべての人が情報難民になっており、情報不足が不安をより増幅させている事が分かりました。

情報誌「めぐりあい」特派員

南相馬市原町区:

堀川 直人 090-8926-6247
赤石澤啓雅 090-8780-7208
鎌田 博幸 090-2990-2000
高橋 由光 090-4632-8240
新開 勇貴 080-6055-4696
杉森 哲也 0244-26-3340
山田 雅彦 090-3237-6881
石川 俊 090-3646-2159
片山 智之 090-2271-7978
江本 節子 090-8258-0840

南相馬市鹿島区:

佐藤 清彦 0244-46-5354
佐々木春水 090-2020-9146

相馬市:

杉岡 水佳 0244-36-8444

福島市:

奥本 英樹 024-548-8431
久保田千春 080-5556-6419

郡山市:

大甕 勇一 090-2270-4886

三春町: 遠藤 麻希 080-6039-7732

白河市: 矢吹 和士 090-1067-4067

埴町: 藤田 健 090-6854-4660

会津若松市:

岩橋香代子 090-5354-1280

会津坂下町:

二瓶 恭子 090-8780-9621

栃木県: 今井 一秀 090-5236-2200

群馬県: 小出 利一 090-3912-0043

埼玉県: 小野崎研郎 090-1735-6275

千葉県: 林 仁子 090-1937-4813

東京都: 高野 敏雄 090-2025-6065

吉谷 剛 090-1407-5926

神奈川県:

鈴木優香子 090-4249-4334

愛知県: 江本 潤子 090-6147-9606

福岡県: 今井 正人

長崎県: 古川隆三郎

宮崎県: 井上 聖子 080-3982-4144

北海道から沖縄まで
散らばった人の
情報コミュニティ!
「めぐりあい」です。
これまでより強く熱く
繋がろう!
全国各地の特派員が
情報を集めます。
お気軽に声を
おかけ下さい。



編集後のつぶやき

- ・さくらさく吉報待つよ原発から
- ・避難所でカロリー計算真剣に

あかのふたこと

ボランティア大募集

NPO法人はらまちクラブでは
災害復興ボランティアを大募集します。

1. 情報誌「めぐりあい」配達ボランティア
 2. その他復興に関するボランティア
- ※お問合せは次のところをお願いします。
☎090-8258-0840 (江本)
☎0244-23-5507 (サンライフ南相馬)

災害ボランティア活動

NPO法人はらまちクラブの災害復興ボランティアとして、4月16日(土)会津坂下町の「NPO法人スポーツクラブバンビ」の5名が活動しました。

作業前の打合せ
鹿島区社会福祉
協議会にて



バンビ
災害支援車

作業の様子



ありがとう
ございました

ごせやげ場 ある社長のブログより

4月15日(金)〇〇会社の社長です。原町区内の旭公園は桜が満開。今は花見の季節なのでした。あっという間に4月も半ば。娘の避難地福島の中学校生活順調。家族の分離生活に慣れつつある自分に愕然。国によって、原町区が「緊急時避難準備地域」(屋内退避解除の前提)＝汚染隣接地域として固定化してしまうことの恐怖が募る。本日労働基準監督署の協会会合あり。地震津波の罹災事業所は救援対象だが、今のところ原発退避地域の助成措置はない、との回答。経済団体や地域住民の政治的陳情が無いと。補償もないかもしれない。と言われました。・・・自らの企業存続もない状況です。戻ってきた社員に仕事を与え、皆さんの家族の分断避難生活を支えるために、何か行動を起こさなければいけない時期かもしれません。一週間が短く疲労感が蓄積。哭きながら笑顔を作る日々です。

4月16日(土)「緊急時避難準備区域」と指定。未だに屋内退避解除ならず。企業活動に制限が残り、復興の計画すら立たない。心意気で避難各地から戻った社員に仕事が無い。大手金融、建設資材メーカーは、30km圏内の営業をしない。戦時中の統制状況。雇用調整助成措置は、地震津波罹災企業のみ。原発退避は適用除外。何のための労働行政か？また不明者捜索の協力建設関係者の労務賃金は、県通常単価のみ。危険地割増や安全対策費の計上なし。県警・自衛隊の機動力は敬服するが、後方支援の民間企業は時間給バイトと同じ扱いは・・・線量計、防護服も全員に行き渡らず、労働安全衛生上の課題は、事業主に丸投げ。皆で国会議事室にデモしましょうか。

4月17日(日)快晴で暖かい一日。本日枝野官房長官が南相馬市入り。知事も初めて南相馬市に。市長面談後、20km圏内の遺体捜索現場の激励。我々建設業者は本日枝野のために、本来休みだったのが作業継続。政府のマスコミ広報に利用される。長官訪問の結果として、今週中に「原町区主要部の屋内退避解除」が発表される予定。但し、最悪事態に対し、自律的に緊急避難できない。子供や高齢者は、避難継続を指導する。また海江田大臣の会見では原発退避はあと半年以上続くと発表され、各自二重生活の固定化が懸念。私は原町一小避難所の炊き出し(雑煮)に参加。今日は青年会議所やタレントのライブなど市内の行事多数。社員も放射線数値より花粉症が深刻。各位健康にご留意。

ごせやぐ・・・相馬弁で腹の立つことデス。

詳しくは相馬弁保存会のホームページをご覧ください。

<http://emosuzu.fc2web.com/>

ホットニュース

○福島県第1次配分義援金受付が始まりました。4月18日より義援金支払の受付が始まりました。申請期限は特に定めていませんので、南相馬市ホームページをご覧ください。南相馬市社会福祉課にお問い合わせください。

TEL 0244-24-5243 fax 0244-24-5740

○原子力発電所事故による損害への「仮払補償金」について

問合せ先：福島原子力補償相談室(コールセンター) ☎0120-926-404 (4月28日より開設予定)
または、東京電力の各地域カスタマーセンター

【災害ボランティアセンター】

- ・南相馬市社会福祉協議会災害ボランティアセンター
☎ 0244-24-3415
- ・南相馬市社会福祉協議会鹿島区災害ボランティアセンター
☎ 0244-46-5354



3月11日に発生した東日本大震災では
多くの人が避難を余儀なくされました。
その時！何を持って避難したでしょうか？
家族とはうまく連絡をとれたでしょうか？
そんなあれこれをまとめてみました。

普段から家族で確認しておくこと。

- 1 避難所はどこか。
- 2 連絡がつかない場合の集合場所。
- 3 連絡方法（災害ダイヤル・災害用伝言板）
- 4

持っていくもの。

- 1、お金（1000円札、硬貨）
- 2、カード
（クレジットカード・銀行カード）
- 3、保険証（コピーでも）
- 4、常備薬・お薬手帳
- 5、携帯電話（充電器も忘れずに）
- 6、着替え（1～2日分）
- 7、水・食料（1～2日分）
- 8、洗面具
- 9、携帯ラジオ（乾電池の予備も）
- 10、懐中電灯

避難したら、どこに連絡をする？

- 1、家族
- 2、勤務先
- 3、住所を有する役場



家を出るときにすること。

身の安全が第一です。避難まで時間に余裕がある場合には、以下のことに注意しましょう。

- 1 ブレーカーで電気を止める。
- 2 水道の元栓を閉める。
- 3 ガスの元栓を閉める。
- 4 戸締りの確認。
- 5

初めての避難経験で、積めるだけのものを車に積み込みました。

もっと普段から必需品を厳選しておけば良かったな。
こんな反省から記憶が新しいうちに皆さんも思い出してみませんか。

（有ってよかったもの）

- 1、電気ポット（簡単にお湯が沸くもの）
・・・暖かいものがうれしい。
- 2、パソコン（インターネットができるもの）
・・・新しい情報を取れる。

（要らなかったもの）

- 1、なべ（火を使える避難所ではなかった）

: A型おとうさんの体験記 :

空欄に書き込み **マイメニュー**
を作り、**チェックシート**に
しましょう!!!

自宅の電話 :

私の携帯電話 :

() :

() :